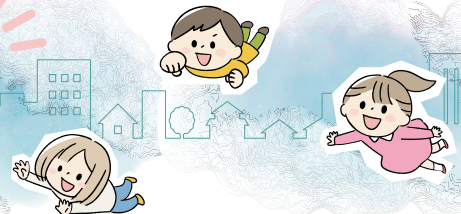




まちの話題



3月15日[Sat]

文化発展の功労者を称える

令和6年度 多久市文化連盟 表彰式・舞踊祭



▲横尾俊彦市長や多久市文化連盟の野田勝人会長らと共に受賞を喜ぶ受賞者のみなさん

令和6年度文化功労者表彰式（主催：多久市文化連盟）が多久市中央公民館で開催され、多久市文化連盟の発展に貢献した7人に賞状と記念品が授与されました。受賞者は以下のとおりです。（敬称略）

■芸術文化寿賞

北島 松代（南多久町）：音楽協会

■芸術文化奨励賞

伊藤 方子（多久町）：美術協会

米田 篤史（南多久町）：練舞会

■芸術文化賞

小園 敏則（北多久町）：音楽協会

川浪 正則（西多久町）：音楽協会

亀川 将平（佐賀市）：孔子の里芸術保存会

田島 恭子（多久町）：文化スタッフたく



3月29日[Sat]～4月3日[Thu]

西多久の春 竹と灯とおひな様 開催

▶手作りのじぞうびな



▲竹飾りや灯などで幻想的な空間が創り出されました

西多久町の市重要文化財「森家住宅」と国重要文化財「川打家住宅」で「西多久の春 竹と灯とおひな様」が開催され、市内外から約700人が訪れました。ひなの会サークルのみなさんが1年かけて準備してきた約200体のひな人形や竹飾りなどが展示。みんなが幸せになれるよう、たくさんの人々を救ってくださるようという願いが込められた『おじぞうさん』がモチーフとなりました。

ひなの会サークルの飯守清子さんは「座って鑑賞される人など思い思いに時間を過ごされる人がたくさんいらっしゃいました。来場されたお客様から『どこか懐かしい雰囲気で心が癒されました』『ほっこりした気持ちになりますね』と直接うれしい言葉をいただき元になります」と笑顔で話されました。

4月10日[Thu]

市内義務教育学校3校で入学式



▲期待に胸を膨らませて入場する新入生と歓迎する在校生

市内義務教育学校3校で入学式が行われ、中央校78人、東部校24人、西溪校20人の計122人が、新たに学校生活をスタートさせました。

西溪校では、7年生が新入生の手を引き、4年生がつくった花のアーチをくぐって体育館に入場。大島和子校長は「友達との思い出や同級生と過ごす時間、新しいことを学ぶ楽しさなど、心に残る自分だけの宝物を見つけてください。先生や上級生のみんなが全力で応援します」と話されました。

さらに、在校生を代表して9年生の瀬田滉さんが挨拶。「楽しいことが待っています。一つずつできることを増やし、キラキラ輝く学校生活を送ってください」と歓迎の言葉を贈りました。

